

創立百二十周年の「佐世保市教育会」

1月24日、佐世保市教育会創立百二十周年の記念式典が、会員や教育関係者、市民の皆さんなど多数お集まりになり、アルカス佐世保で盛大に開催されました。



本市にはさまざまな団体が数多くありますが、明治27年、佐世保市誕生前の佐世保村時代から続いている団体はほとんどないと思います。

この佐世保市教育会は、明治時代には、私立佐世保工業補習学校や私立佐世保図書館(後に両施設とも佐世保市に移管)など、当時佐世保市として必要だった教育施設を、行

政の手が回らないため先行して設立され、運営にも携われたとのこと。また大正年間には、市立佐世保夜間中学校(現県立佐世保中央高校の前身)や市立佐世保商業学校(現県立佐世保商業高校)の設立に大きく寄与されました。

戦後は終戦後の混乱期から高度成長期においても、佐世保市教育会の理念をしっかりと掲げられ、市内経済界などの有力者が会の運営に尽力されました。

そして、現在においては、古賀良一会長就任後、毎年「教育懇談会」や「教育バザー」を開催されるなど、積極的な事業の展開を通じて、学校、家庭、地域の連携の重要性を発信し、啓発し続けておられます。

また市内各中学校区に支部を組織され、支部活動の中で

地域特性に合ったよりきめ細やかな学校、家庭、地域の連携による活動を実施されています。

このたび佐世保市教育会は創立百二十周年を迎えられ、これまでそれぞれの時代のニーズを的確に捉え、本市での教育の役割を果たしてこられました。現在は「徳育」という人類永遠のテーマにも取り組んでいただいております。今後の活動などに大きな期待を寄せているところです。

市民の皆さまにおかれましても、「教育」、特に「徳育」に関心を持っていただき、佐世保市教育会や佐世保徳育推進会議、そして佐世保市、佐世保市教育委員会と一体となって「徳育推進」によるまちづくりに取り組んでいきましょう。

佐世保市長 朝長 則男

シリーズ私の3しい⑥ 「佐世保の美味しい」(九十九島かき編)



市民一人一人に、佐世保の3つの「しい」(美しい、楽しい、美味しい)を持ってもらい、PRしていただく「させぼ観光3しいGO! 作戦」。今回は「佐世保の美味しい」で、佐世保バーガーに次いで多くのご意見が寄せられた「九十九島かき」をご紹介します。

- 九十九島かきは、小ぶりながら濃厚なうま味があります。秋と冬には、九十九島かきが味わえる「九十九島かき食うカキ祭り」が開催され、夏の時季には大きな岩ガキが食べられます。(42歳・男性)
●九十九島かきはやっぱりおいしい。(48歳・女性)
●佐世保のおいしいものといえば、やはり九十九島かきですね。海に近い分、海の幸がおいしいです。(66歳、女性)
●夏の岩ガキも最高です。肉厚で海のおいしさが詰まっています。(31歳、女性)
●九十九島の力キは広島のカキに負けないほどおいしいと思います。(60歳、男性)



九十九島岩がき

九十九島の海で2年以上をかけて大切に育てられる、佐世保の新ブランドです。7月～11月に産卵期を迎えるため、うま味が詰まった夏が旬です。

観光物産振興局 ☎24-1111

させぼ市政だより キラっ都させぼ

西海国立公園は60周年！ 九十九島は宝物

3月で指定60周年を迎える西海国立公園。改めて知ってほしい九十九島のことやこれからの振興策について、朝長市長がお知らせします。

Table with 2 columns: 放送予定日, 放送時間(放送局). Rows include dates from 3月7日 to 3月28日 and a weekly slot on 18:55.



2月放送の収録の様子。市HPで視聴できます。

3月のプレゼント



「みらい」ペア乗船券を5人に！ 遊覧船としては日本初の電気推進船「みらい」が4月から就航。今回はペア乗船券をプレゼントします。 ※応募方法は番組内でお知らせします。

秘書課 ☎24-1111

人の動き

- 2月1日 現在
●総人口 254,309人(-212人)
男性 119,428人(-100人)、女性 134,881人(-112人)
●世帯数 105,770世帯(-50世帯)
※1月中の動き
転入 448人、転出 545人、出生 226人、死亡 341人

させぼ市政だより

- テレビ
NBC 土曜9時25分～30分、KTN 土曜11時40分～45分
NCC 土曜10時55分～11時、NIB 日曜6時30分～35分
●ラジオ
NBC 日曜 9時25分～30分、FM長崎 火曜 9時5分～10分
FMさせぼ 火曜10時30分～35分・日曜 9時30分～35分
●新聞
長崎新聞 毎月第2・4火曜

徳育通信 36

少年の主張大会の司会を務めて得たもの

私は司会のお話をいただいたとき、自分のできるのかと不安でした。最初は与えられたシナリオを懸命に読むだけでしたが、徐々に言葉の明瞭さやイントネーションにも気を付けるようになりました。練習後、「上手だったよ」という温かい言葉をいただき、自分のことを見てくれていた人がいたと分かり、本番への緊張が楽しさになりました。本番では練習の成果を出そうと精一杯頑張りました。この経験を通して、人を思いやり、支え合うことの大切さを学ぶことができました。



佐世保市立宮中学校 服部 朋花

僕は司会を依頼されたとき、正直なところ「なぜ僕なんだろう」と思いました。最初はミスなく仕上げようという気持ちでしたが、練習を重ねるうちに、言葉に心を込めなければいけないと思うようになりました。本番では、公の場での立ち居振る舞いを学ぶことができ、とても勉強になりました。今回、少しでも人を支えたいと努力しましたが、見方を変えれば、自分も教えられていることに気付かされました。今後、何事にも自ら進んで取り組み、周囲に思いやりを広げていきたいと思っています。

佐世保市立宮中学校 永谷 健太

※この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう！